

【高等学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている C:やや不十分である
 B:おおむね達成できている D:不十分である

| | |
|----------------------------|--|
| 学校名 | 佐賀県立佐賀北高等学校通信制 |
| 1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に) | <ul style="list-style-type: none"> 丁寧な指導と、はなまる連絡帳や樟蔭の有効活用により、単位修得率が80%以上を達成。進路意識も向上。 多様性を認め自他を尊重する態度の育成に努めた結果、生徒の約80%以上が学校生活に肯定的である。 職員の働き方改革が進んでおり、ワークライフバランスの両立は確かなものである。 |
| 2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標 | 県内唯一の公立通信制高校として、生徒一人一人の可能性に応じた学びの場を提供し、各自が身に付けた体験や経験を、将来の自分の在り方・生き方に活用できる生徒を育成する。 |
| 4 本年度の重点目標 | <ul style="list-style-type: none"> 学校生活を充実させ、主体的な学びにより学力向上を図り、単位の修得、高校卒業につなげる。 生徒の希望進路を把握し、情報を提供しながらより良い進路実現に努める。 多様性を認め、自分も人も大切にしたい心や協調性を養い、社会自立と将来の社会の形成者としての自覚を促す。 |

| | | | |
|-------------|---|--|--|
| 3 スクール・ポリシー | アドミッション・ポリシー | カリキュラム・ポリシー | グラデュエーション・ポリシー |
| | <ul style="list-style-type: none"> 「高校卒業資格を得たい」という強い意志を持った生徒を求めます。 失敗を恐れず挑戦することや最後まであきらめず努力する意気込みのある生徒を求めます。 自由と責任を両立させ、目標に向かって主体的に取り組む意欲のある生徒を求めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を大切にするとともに、多様な教科を開設する単位制のメリットを生かして、個別最適な学びを実現します。 キャリア教育を推進し、生徒それぞれの希望・能力・適性に合った進路実現を支援します。 外部講師による講話など、多様な価値観に触れる活動を実施・奨励します。 教科指導や部活動、学校行事などを通して、命を大切にしたい心、寛容性、協調性を養います。 | <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを生かして、豊かな人生を切り拓くとともに、より良い社会の形成者として、調和と協調に基づくウェルビーイング(自己と地域の幸福)の実現に貢献する人材を育成します。 持続可能な社会の実現に向け、身につけた知識や経験をもとにした柔軟な対応力と諦めず粘り強く取り組む姿勢を育成します。 他者を理解し尊重する気持ちを持ち、自己も他者も生かすことができる豊かな人間関係を築く力を育みます。 |

| 5 重点取組内容・成果指標 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 |
|----------------------|--|--|---|---------|----------|---------|------|---------|-------|------------------|
| (1)共通評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | |
| 評価項目 | 重点取組内容 | 成果指標(数値目標) | 具体的取組 | 進捗度(評価) | 進捗状況と見通し | 達成度(評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| ●学力の向上 | ○進学対策や就職対策の強化 | ○就職対策講座を開講し出席率65%以上とする。 | <ul style="list-style-type: none"> 「樟蔭」やスクーリング連絡、進路説明会等を通して就職対策講座の広報活動を行う。 キャリア教育講演会による、進路意識の向上を図る。 進学希望者への小論文指導など充実を図る。 | | | | | | | 学習指導部 進路指導部 |
| ●心の教育 | ●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○スクーリングには楽しく参加できていると答えた生徒が80%以上。 ○挨拶や服装に気を遣っているとした生徒が80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒会による朝の挨拶運動を実施し、挨拶や服装について高校生としてのモラル意識の向上を推進する。 HRや講演会を通して、他者への思いやりや社会性をもった生徒の育成を推進する。 | | | | | | | 生徒指導部 保健教育相談部 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 | ○いじめの重大事案件数を0件とする。 ○学校は、いじめの早期発見・早期対応体制の充実に取り組んでいると答えた生徒が80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートの実施。(前期1回、後期1回) HRや学校行事等でいじめ撲滅について啓発活動を行い、生徒間の意識の共有を図る。 | | | | | | | 生徒指導部 保健教育相談部 |
| ●健康・体づくり | ●安全に関する資質・能力の育成 | ●交通ルールを守ることができたと答えた生徒が90%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導講話での交通安全意識啓発。 許可申請による自家用車登校生徒の把握。 新しい交通制度を学校情報誌等に掲載することによる交通ルール遵守意識の向上。 | | | | | | | 生徒指導部 保健教育相談部 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外在在等時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在在等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 | <ul style="list-style-type: none"> 定時退勤推進日を定め、声を掛け合って徹底を図る。 公務のデジタル化を推進し業務時間の短縮を図る。 | | | | | | | 管理職 |
| ●特別支援教育の充実 | ○多様な生徒の状況に応じた支援・配慮の実践 | ○学校生活を安心して過ごすことができた生徒が80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 年に2回校内での生徒情報交換会を実施して職員間の情報共有を図る。 生徒理解に関する職員研修を実施する。 | | | | | | | 保健教育相談部 |
| (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 |
| 評価項目 | 重点取組内容 | 成果指標(数値目標) | 具体的取組 | 進捗度(評価) | 進捗状況と見通し | 達成度(評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| ○(独自評価項目・任意) | ○単位修得率の維持・向上。 | ○前年度の単位修得率87.1%(4年91%、3年90%、2年87%、1年82%)であった。1・2年生の単位修得率を昨年度より1%増を目指す | <ul style="list-style-type: none"> 「学習のしおり」、「樟蔭」、「はなまる連絡帳」等を有効活用し、スクーリングへの出席を呼びかける。 ホームルームへの参加を促し、担任から学習状況を個々に連絡する | | | | | | | 教務部 学習指導部 |
| ○自主性・積極性の伸長 | ○学校行事や部活動・生徒会活動等、生徒の自主性・積極性を促す教育活動 | ○学校行事や部活動・生徒会活動等に積極的に参加したと答えた生徒が80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校行事への生徒の参画を推進して、自分たちの手で作り上げているという意識の涵養を図る。 部活動の対外的な活動を案内し、積極的な活動を促す。 | | | | | | | 管理職 |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・
次年度への展望 (簡潔に)